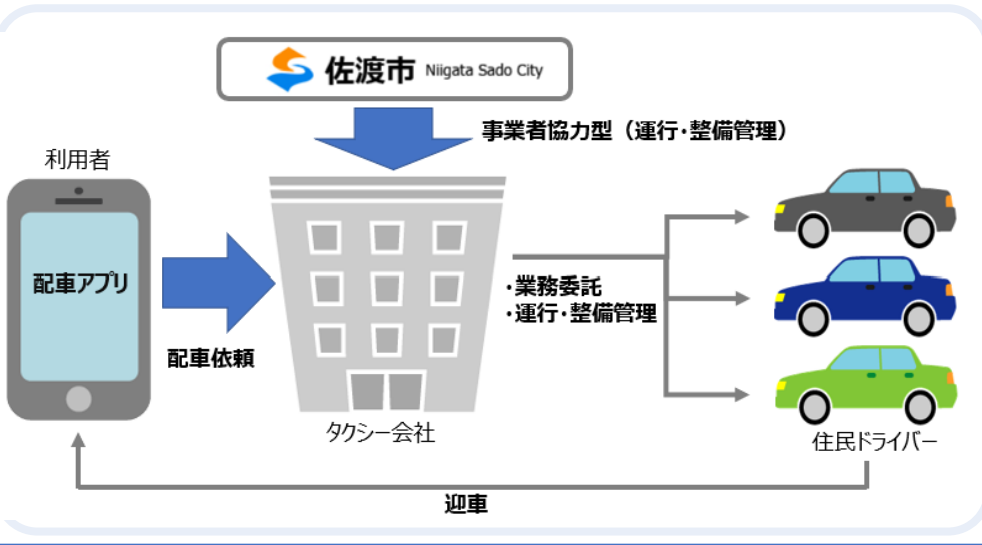


# 佐渡版ライドシェアの実証調査（佐渡市）

補助金	補助率	補助上限額
地域の移動手段確保支援事業費補助金	新潟県	1/2～2/3
		500万円

## 事業実施主体

- 【実施主体】 佐渡市
- 【運行主体(事業者協力型)】 新潟交通佐渡(株)、おけさ観光タクシー、
- 【ドライバー】 佐渡市民
- 【配車アプリ】 NearMe



## 実証事業の内容

- 観光シーズンにタクシーが不足している地域において、市内のタクシー事業者と連携し、一般ドライバーによる自家用車を活用した『佐渡版ライドシェア』の実証調査を実施（令和7年4月26日～令和7年11月30日）。
- 自家用有償旅客運送(事業者協力型)の活用による実証実験を行い、タクシーが不足する地域、時期及び時間帯並びにそれぞれの不足車両数を定量的に把握するべく検証を行った。
- 配車システム・NearMeでは予約注文から決済までオンラインで完結できるため、地元タクシー事業者の業務DXに繋がり、運行の負担軽減が期待できる。
- 予約注文はタクシードライバーが受信し、タクシーを配車できない場合にライドシェアドライバーが注文を受信し、配車が決定する流れ。



- 配車システムの導入に向けては、ドライバーに対して講習を行い、スムーズなシステム利用を支援。

ライドシェアドライバー講習会の様子（令和6年7月16日実施）

## 地域の課題

- 観光シーズンにおいて、一時的にタクシーやレンタカーなどの供給が不足し、観光客の移動に支障をきたしている。
- タクシー運転手の年齢は50歳以上が9割を超えており高齢化が進んでいる。
- 新規採用が少数のため、年々運転手が不足し供給不足。また、レンタカーにおいては年間を通じ安定した需要が無いことから、増車の対応が困難となっている。

## 今後の展開

- タクシーが不足する時間及び地域において、それぞれ不足する台数を定量的に把握し、自家用車活用事業の導入に向け検討を行う。
- 佐渡版MaaSの社会実装に向けて、市内タクシー事業者のIT化を推進し来訪者や市民に利便性の高い移動サービス提供を目指す。